



★ 2013年から2014年へ ★
12月31日(火) 23:45~
除夜の鐘のご案内

いよいよ年の瀬を迎え、何かと心せわしい毎日です。
今年は10月初めまで30℃を超える暑さが続き、
ようやく秋がきたと思ったのも、つかの間
これから冬本番を迎えます。
皆様、いかがお過ごしですか？

さて、今年も大晦日の夜には、お寺で除夜の鐘をつきます。
除夜の鐘は、一年の心の大掃除です。



いつも、どんな人にも 和やかに対応できただろうか
自分のことと同じように、人のことを真剣に考えていただろうか
生きていることへの感謝の気持ちを大切にきていただろうか

一年を振り返り、心に手をあてて考えると
自分の心はその数分、一時間、一日のうちに
どんどん形を変えて動いているのがわかります。



仏様の教えを受け「心機一転！」と思っても、悲しいかな
次の瞬間、次の日には、また違うことを考えていたりします。
自分勝手なむさぼりの心、怒りの心、ねたみや高慢な心・・・
そんな邪心が心に入り「仏心」を見えなくしてしまいます。

過ぎ去った日々は戻ってはきません。
心の平穏は、「仏心」が雲隠れしては訪れません。
自らの心の汚れを落とし、また新たに心の修行を積む、
そのために、お寺では除夜の鐘をつきます。



どなた様も、夜道お気をつけてお越しください。



★ 新しい年を迎えて ★
1月1・2・3日 10:00~11:00
修正会(しゅしょうえ)

心清らかに新しい年が明けますと、
どこの禅寺でも 年中行事「修正会」が行われます。

この修正会では、
新年無事に迎えられたことを仏様に感謝すると同時に
今年一年も仏様の教えを信じ、身も心も正しく律して
自分の心にある「仏心」に素直であることを
本尊釈迦如来様に誓います。

一年の初めに、
お釈迦様、ご先祖様に聞こえるよう
気持ち良く大きな声でお経を読みたいと思います。
それでは皆様、新年笑顔でお会いしましょう。
どうぞお気を付けて お出かけください。



大智寺だより

平成25年 師走
Vol.46

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

11月号発行部数
250部

ご愛読
ありがとうございます

弘法堂のお掃除 ありがとうございました。

あいにく朝から冷たい雨が降ったものの、
里一号の方々が、弘法堂のお掃除をして
くださいました。

足もとの悪い中、お花を
たくさんお持ちくださり
山茶花や菊のいい香りが、
御堂いっぱい広がりました



本当にありがとうございました。

冬の托鉢のご案内

毎年恒例の、冬の托鉢が
12月3・4・5日に行われます。

この托鉢は、
近所のお寺が宗派を超えて一緒に活動する
「報聖会（ほうしょうかい）」が行っています。
北野周辺の托鉢予定日は12月5日です。
どうぞよろしくお願いします。

～ シリーズ 美濃西国三十三観音霊場 その⑥ ～
4年に一度の総開帳 平成26年4月6日（日）～4月20日（日）

霊場めぐり ひとくちメモ

霊場寺院でのお参りの手順を、簡単におさらいしてみましょう。

まず境内の水屋で、手を洗います。

あらかじめ写経してあれば、それをお堂の所定の箱に納めます。

お灯明、線香をあげます。

ご本尊を念じ、合掌し、般若心経、延命十句、回向文を読経します。

所定の納経料を納め納経帳に朱印を押してもらおう。（バスツアーでは一括して行いますので不要です）



大智寺巡礼バスツアー 参加者募集

平成26年4月8日（火）・9日（水）

（2日間かけて一緒に美濃西国三十三観音霊場へお参りします）

お檀家の方はもちろん、そうでない方も、
皆様ご家族、お友達お誘い合わせの上、一緒に巡礼しましょう。
両日の昼食及び奉納経は、参加費に含まれております。

お申込み先：大智寺まで（締切2月28日）

（参加費用：お一人様 13,000円）

霊場のご紹介

第十六番札所：真言宗智山派 願成寺（岐阜市） ご開帳：十一面観世音菩薩
国の天然記念物 中将姫ゆかりの誓願桜が有名なお寺、ご開帳中咲いていると嬉しいですね。

第十七番札所：高野山真言宗 護国之寺（岐阜市） ご開帳：十一面観世音菩薩
眼下に長良川が流れ、絶景を楽しめるお寺、寺宝金銅獅子唐草文鉢は岐阜市唯一の国宝。

第十八番札所：天台宗 美江寺（岐阜市） ご開帳：十一面観世音菩薩
長良川氾濫に苦しむ人々を救済するため建てられたお寺、通称「美江寺観音」と呼ばれる。

総開帳の期間中 境内に立てる観音様ののぼりを奉納して下さる方を募集しております。
のぼりには、施主様の御名前を記入させていただきます。（一本 2,200円）



～ 観音様の教え 『延命十句観音経』 ～

第六句：常楽我淨（じょうらくがじょう）

子どもも唱えられる 一番短いお経から、
観音様の教えを簡単にご紹介。



私は ひとつのロウソクです
私が消えるまで、ひとついいことをしたい、わずかなひとときの命を 私はむだにしたくない
これは、身体障がいを持つ小学生の子の詩です。

無力で小さな私達は、二度と戻らない時間を前に向かって進んでいます。
こんな私達を救うため、観音様は私達の心に眠っている「仏心」（素直な心）を呼び起こしてくれます。
そして四つの功德（常德・楽徳・我徳・淨徳）をもたらししてくださる、と第六句に書かれています。

「常德」とは、「今は今しかない、今は再び戻らない」と、無常であることを常に意識して生きる功德。
「楽徳」とは、自分と他人を比べることなく、たとえ苦しい状況下でもそこから楽を得て生きる功德。
「我徳」とは、自分だけに執着せず、世の中の事や他人の事すべてを自分のこととして考える功德。
「淨徳」とは、きれい汚い・美しい醜い・裕福貧乏などを差別せず、物事の本質の清浄を觀る功德。

「功德がある」と聞くと、摩訶不思議な神仏の御利益があるように思われますが
誰しものが必ず心の中にもっている「仏心」に、ひとり一人が気づいて行動に移していけば
この四つの功德が自ずと身につく、苦しみから救われる、と観音様は教えて下さっています。

今年のおひまわり

とうとう一年のしめくくりの月となりました。
赤や黄色の美しい葉も、さらりと潔く散ってゆき、
冷たい風が木々の間を吹き抜けていきます。

さて、先月の紅葉シーズンには多くの方々に参拝
いただき、ありがとうございました。

毎年「モミジの見頃はいつですか」「紅葉はどう
ですが」とお電話をいただくものの、なかなか紅葉
加減を言葉で伝えるのは難しいと思っていました。
そこで、今年は新たな試みとしてホームページに
て、移り変わりゆく境内の様子を写真付きでお伝え
する工夫をしてみました。「日々是好日」という名
でページを作り、1月のロウバイの開花状況から
始まり、四季折々の花の様子や紅葉の様子など一年
に亘りつづけてきました。

四季折々の境内を少しでもわかりやすく、という
願いで始めましたが、本当に教わることの多い一年
でした。なにげなく書らしていた時には、いつかの
花が咲き始めたのか、彼岸花の最初の一輪はここで
咲いたのか、このかわいらしい花
の名前は何か、など意識する
こともありませんでした。

この大智寺だよりもそうですが
人に何かを伝えることは、自分が
学ぶことなのだとしみじみ思います。

今年も、皆様のおかげで無事に
大智寺だよりを発行することができました。
来年も皆様にとってよいお年となりますように、
心からお祈り申し上げます。
一年間ありがとうございました。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん 優しい甘さの 白菜煮

- ① 白菜を洗ってひと口大に切る。油揚げも適当に切る。
- ② 鍋に油を熱して白菜と油揚げを炒め、お酒と出し汁をちょっと入れる。
- ③ 白菜がやわらかくなったら、しょうゆを大さじ1入れ、軽く混ぜる。
- ④ よく味がしみこんだら、七味とうがらしなどをかけて、出来上がり。



煮汁が足りなければ、お酒や出し汁をちょっと加えればいいよ。
寒い日にあったかい煮物があると、うれしいでね。白菜は自然に甘味が出るのでおいしいよ。



～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第十二回：お寺の教義（きょうぎ）

大智寺の宗門を、やさしく簡単に
おわかりいただければ嬉しい、そんなお話



さて「おたくの宗旨（しゅうし）は何？」と聞かれれば、
「臨済宗」ということは、前回少し触れましたが
「いったいどんな教えなの？」と聞かれても、なかなかスマートに答えられるものではありません。

「教義」について大本山妙心寺では、端的にこう表しています。
『お釈迦様の正法を受け継がれた初祖達磨大師、宗祖臨済禅師、開山無相大師に及ぶ一流の禅』
つまり「お釈迦様の教えを旨に、禅の安心（あんじん）を求める教え」ということになります。
— お釈迦様が菩提樹の下で悟られた時のお姿「坐禅」を、自ら体験し「安心」を求める —
では私達が求める「禅の安心」とは、どんな心でしょうか。

それは、ひとつの相（そう）にこだわらない無相（むそう）の心
一処にとどまらない無住（むじゅう）の心、ひとつの思いかたよらない無念（むねん）の心。
こういった心のあり方を、仏心（ぶっしん）といい、禅定（ぜんじょう）ともいいます。

私達はもともとこの心を持って生まれてきました。
しかし自分と他人を比べ、自らの都合や立場を守ろうとする我欲が
仏心を曇らせてしまっています。
自他の距離・境界を越え、森羅万象すべてを自分のこととして考える
そんな心の境地を求めることが、我が教義なのです。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

一回 500 円
12月22日（日）（内 300 円は義援金）
（朝8時～9時） 要申込

11月写経会 備忘録

晴れわたった11月の写経会は、紅葉が一番美しい朝となりました。般若心経一巻を写経する間も、心はあちこち自由に飛んでいきます。集中し続けることは難しいですが、少しでも一字一字に思いが込められればと思います。本堂での読経の声も、だんだん大きくなっているように感じられ嬉しい限りです。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから、「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。